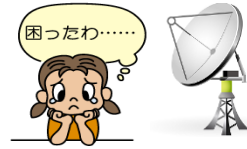


実践プラン作成に向けた5つのステップ（流れの例）

ステップ1 取り組む地域課題を選定



○地域住民の声にアンテナをはり、地域の実情を踏まえつつ、取り組む課題を決める。

ステップ2 課題に関わる情報を収集



○その課題に「どのような地域の組織や団体関わっているか」、また、「どんな活動をしているのか」を調べる。
(例) 自治会、子ども会、PTA等の地域の既存団体、NPO、社会福祉協議会、ボランティアセンター、市民活動センター、行政部局 等

ステップ3 プラン作成に向けて、提案書を作成



○モデル例を参考にして、取り組もうとする課題とその理由、自分たち（社会教育行政、施設、団体等）ができる取組み、連携したい組織や団体とその理由を記載して提案書を作成する。

ステップ4 提案書を持って相談



○提案書を持って、ボランティアセンターや社会福祉協議会などに相談に行く。その中で、プランに協力してくれる可能性の高い組織や団体を紹介してもらい、プランの中の各取組みの実施主体を仮定する。

ステップ5 プラン実施に向けて協議



○協力してくれる可能性の高い組織や団体等への事前説明後、集まってもらい、企画会議を持つ。その中で、「ねらい」「取組内容」「次への工夫」「学びと実践が繰り返されるための工夫」などを検討し、実践プラン作成シートを活用してプランを完成させる。

プランを実践

